



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2019年(令和元年)6月15日号 No.1795

## 目次

■ <b>カザフスタン大統領選でトカエフ当選も変化の兆し</b> .....	中馬 瑞貴 1
■ <b>統計速報</b> .....	6
2019年1～5月のロシアのブランド別乗用車販売台数/6	
■ <b>エトセトラ</b> .....	7
「第15回日本ウズベキスタン経済合同会議」のご案内/7	
■ <b>トピックス</b> .....	7
日野自動車がモンゴル市場に本格参入/7	
商船三井がロシア海事大と船員育成で覚書/7	
ロシア北極圏LNG参加に向け最終調整/7	
ペテルブルグに自動車部材の生産拠点/8	
モスクワで松屋1号店がグランドオープン/8	

## カザフスタン大統領選でトカエフ当選も変化の兆し

ロシアNIS経済研究所 研究員  
中馬 瑞貴

### はじめに

2019年6月9日、カザフスタンで臨時大統領選挙が行われ、70.96%の得票でカシム・ジョマルト・トカエフが当選を果たした。2019年3月、任期満了まで約1年も前に大統領職の辞任を表明したナザルバエフの後任として大統領に就任したカシム・ジョマルト・トカエフは、次期大統領選挙が行われるまでの約1年間、大統領を務めることができるはずであった。しかし、4月9日に行われた国民向けの演説の中で、大統領選挙を前倒しで行うことを発表した。4月23日、ナザルバエフ初代大統領(エルバシ)が党首を務める与党「ヌル・オタン」がトカエフを大統領候補者として推薦したことから、彼の当選は選挙前に明らかであった。一方で、ナザルバエフの「院政」とも見られる動きに対して最近では国内で反発の声が高まっており、トカエフがどの程度の支持率を獲得できるかという点に注目が集まっていた。大方の予想通りトカエフが再選を果たし、得票率も決して低くはなかったものの、選挙当日もその後もヌル・スルタン(旧アスタナ)市やアルマトィ市で国民によるデモが起こり、ナザルバエフ政権が誇りとしてきた国内の政治的安定が揺らぐ側面が垣間見られた。

そこで本稿では、今回の大統領選挙の結果とその後の政治情勢についてまとめる。